

コンクリート用耐薬品性補強剤

タックダイن

AC-100Ⅱ

仕様書

ファイバーダイン株式会社



コンクリート用耐薬品性補強剤

タックダイン

AC-100Ⅱ

『 特 徴 』

1. 耐硫酸等に対する耐薬品性に優れています。
2. 作業性が良好です。
3. 接着性に優れています。
4. 機械的強度及、耐久性に優れています。

『 用 途 』

1. 下水処理施設等の防食ライニング
2. その他の防食ライニング、コーティング
3. 布基礎の補強

『 使用方法 』

1. 被着体表面のレイタンス、ゴミ、汚れ油分等を除去する。
保護剤、（タックダインPE-10G、PS-10G）を塗布し、
素地調整材（タックダインパテBG-200G）で塗布面を処理
してください。
2. 主剤、硬化剤を定められた配合比（4：1）で計量してください。
3. 主剤と硬化剤が均一になるまで充分に混合攪拌してください。
なお、混合攪拌したものは可使時間内に使用してください。
4. 金ゴテ、ゴムヘラ等にて塗布してください。
5. 施工後樹脂が硬化するまで充分に養生してください。

『 性 状 』

項 目	主 剤	硬 化 剤	試験方法
主 成 分	エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン	-----
外 観	淡灰色	淡黄色液状	-----
配 合 比	主剤／硬化剤 4／1 （重量比）		-----
粘 度	22,000mPa・s	1,900 mPa・s	JIS K 6833
	10,000 mPa・s		
比 重(20℃)	1. 4 0	1. 0 8	JIS K 6833
	1. 3 5(硬化物)		
可 使 時 間	6 0 分 （2 0℃ 5 0 0 g）		温度上昇法
指触硬化時間	7 時間 （2 0℃ 5 0 0 μ）		RC 型乾燥時間測定法
加 熱 残 分	9 0 %以上		JIS K 5400

『 物 性 』

項 目	強 さ	試 験 方 法
引 張 強 さ	2 4. 5 N/mm ²	JIS K 7113
圧 縮 強 さ	5 8. 8 N/mm ²	JIS K 7208
曲 げ 強 さ	4 4. 1 N/mm ²	JIS K 7203
硬 さ	8 5 HDD	JIS K 7215
シャルピー 衝撃値	2. 5 N・mm/mm ²	JIS K 6911

※ 養生2 0℃ 7日間、試験温度2 0℃

『 塗膜の耐水、耐薬品性 』

試 験 液	浸 漬 期 間	試 験 結 果
水 道 水	2 0℃ 5年	異常 なし
1 0 % 食塩水	2 0℃ 5年	異常 なし
1 0 % 硫 酸	2 0℃ 5年	異常 なし
1 0 %水酸化ナトリウム	2 0℃ 5年	異常 なし
飽和水酸化カルシウム溶液	2 0℃ 5年	異常 なし

『 使用上の注意点 』

1. エポキシ樹脂は一度に多量に混合いたしますと発熱が著しくなり、可使時間が短くなりますので、作業に応じて適量で行ってください。
2. 溶剤は施工器具等の洗浄以外には使用しないでください。
3. 毒性はほとんど無くしてありますが、顔や手に付着した時は直ちに石鹼等でよく洗い流して下さい。目に入った場合はただちに流水でよく水洗いし、速やかに医師の診断を受けてください。

『 荷 姿 』

1 ケース 1 2 k g (2 k g × 6 セット)

1 セット 2 k g (主剤：1.6 k g 硬化剤：0. 4 k g)

コンクリート用耐薬品性補強剤

タックダイن

AC-100Ⅱ

技術資料

ファイバーダイン株式会社

F I B E R D I N E

項 目

1. 粘 度
2. 可使時間
3. 指触硬化時間
4. 最小ダレ厚さ（タレ限界）

1. 粘 度

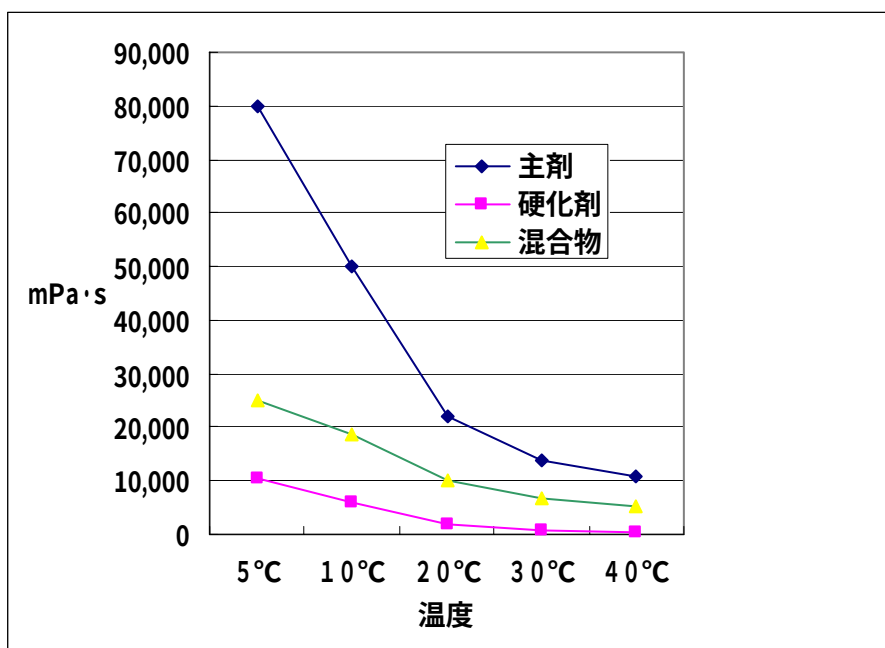
各温度にした循環器付き恒温槽に、主剤および硬化剤を容器にいれ放置し、各雰囲気温度にした後取り出し、直ちに回転粘度計で測定した。

また、混合物については、各雰囲気温度にしたものを正規配合通り計量し攪拌した後、粘度の測定を行った。

単位 (mPa・s)

温度	主剤	硬化剤	混合物
5℃	80,000	10,500	25,000
10℃	50,000	5,900	18,500
20℃	22,000	1,900	10,000
30℃	14,000	650	6,700
40℃	11,000	350	5,200

タックダインAC-100Ⅱの粘度



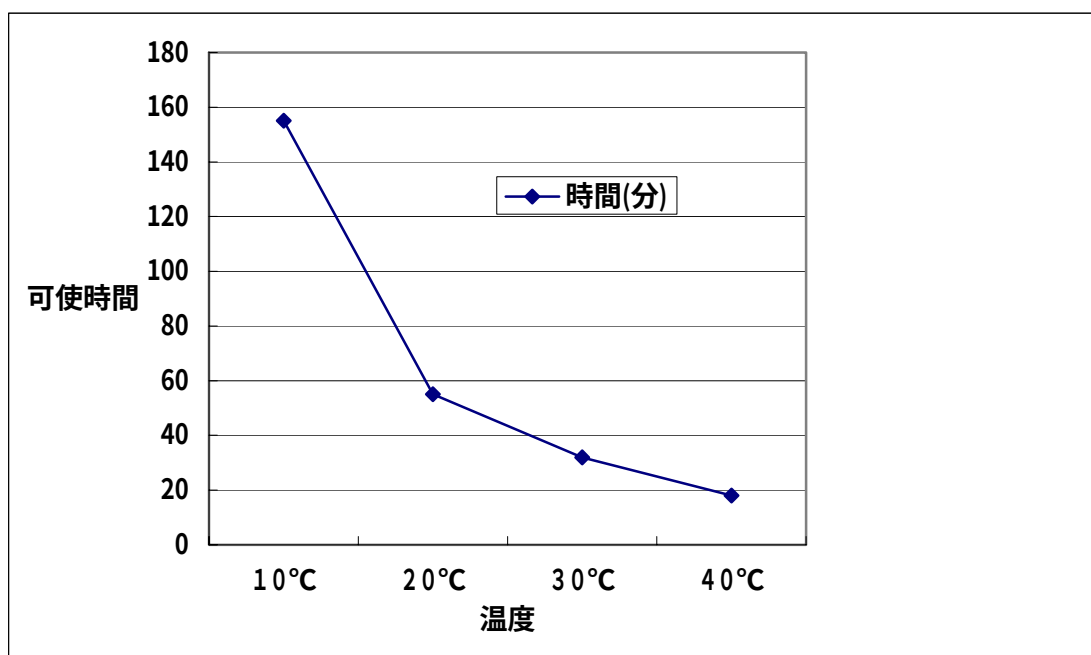
2. 可使時間

各温度にした主剤 800g および硬化剤 200g を 1L のポリ容器に計りとり混合攪拌し、その中心部の発熱温度を測定し、最高発熱温度到達時間の 60% を可使時間とした。

なお、測定は各温度に設定した循環器付き恒温槽中で行った。

温度	10℃	20℃	30℃	40℃
時間(分)	155	55	32	18

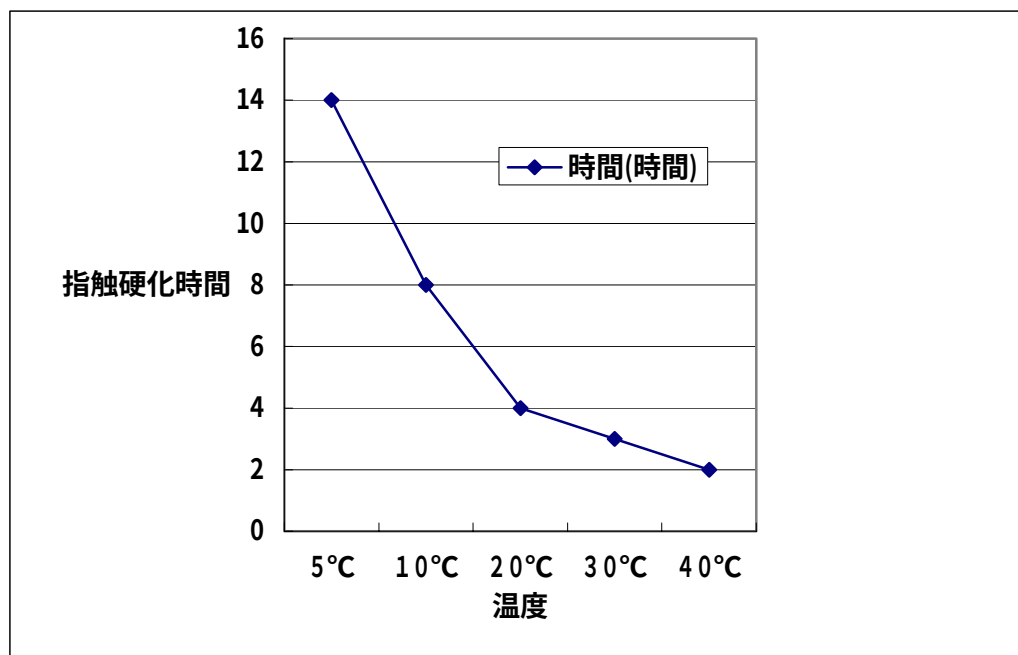
タックダイン AC-100Ⅱの可使時間



3. 指触硬化時間

温度	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
時間(時間)	14	8	4	3	2

タックダインAC-100Ⅱの指触硬化時間



4. 最小ダレ厚さ（たれ限界）

ガラス板上に塗料を直径3 cm、厚さ3 mm程度に垂らし、ガラス板を垂直に立て塗料が硬化した後塗料の上端から約1 cmの厚さを測定しこれを最小ダレ厚さとした。

温度	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
単位 (μ)	550	510	430	390	360

タックダインAC-100Ⅱの最小ダレ厚さ

